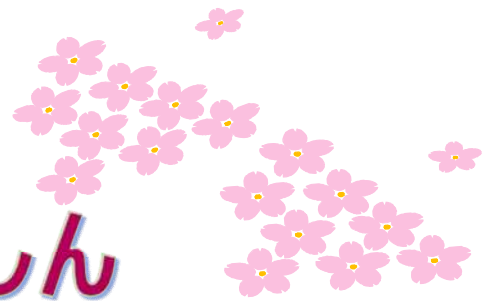




安来市立病院 地域連携室つうしん



NO.54
令和5年3月



● 転院前 WEB カンファレンスの開催

～ まめネットで「地域医療連携」～

松江赤十字病院から転院される患者様について、事前に情報共有をし、スムーズに転院ができるように初めてWEB会議を開催しました。これまで電話連絡と紙ベースでの情報のやり取りでしたが、WEBを使うことによって顔の見える関係ができ、忌憚のない意見交換が出来る様になり、スムーズな引き継ぎができるようになりました。



今後は、より良い医療の提供を目的に、患者様の診療情報を地域の医療機関で共有する仕組み作りを行い、WEBシステムを活用した「医療介護連携」を推進して参りたいと考えております。



●院内研修発表会の開催



昨秋に院内で研修発表会を行いました。各部署から様々な内容の発表がありました。

①コロナ2019の診療について 診療症例発表 ～診療部 北尾苑子

②コロナ渦での看護実践「できることからはじめよう」 ～看護管理室 伊澤里美

③退院支援への取り組み「入退院支援加算1について」 ～2階病棟師長 山根育子

④コロナ2019の院内感染対策「リハビリ室の取り組み」～作業療法士 林原羽衣子

⑤特別加算食についての取り組み ～管理栄養士 桑原遙

⑥「よりよい暮らしを支える」 ケアマネージャからの入院依頼について～地域連携室 竹田裕司

※今回は、①について掲載させていただきます。その他の発表につきましては、広報誌「ひろば」をご参照ください。

コロナ2019の診療について ～北尾苑子

症例①（92歳女性）

【主訴】

発熱・咳嗽

【現病歴】

狭心症、慢性気管支炎、脂質異常症で近医通院中。X年〇月19日に同居の息子嫁が発熱し、〇月20日にCOVID19陽性と診断された。〇月22日に、本人が37.8℃の発熱・咳嗽症状が出現し、保健所へ相談したところ、当院での治療を指示され、救急要請した。当院へ搬送となる。

【既往歴】

狭心症、慢性気管支炎、脂質異常症

【生活歴】

飲酒：なし 喫煙：なし

【アレルギー】

薬・食べもの：なし

【常用薬】

硝酸イソソルビド20mg、メチルジゴキシン0.05mg、

アトルバスタチン5mg、ラベプラゾール10mg

入院時現症

【身体所見】

意識レベル：GCS E4V5M6

体温：38.2℃脈拍：72回/分血圧：100/76mmHg

呼吸数：20回/分SpO2：95%(室内気)

胸部：心音整、心雑音聴取しない、呼吸音清、ラ音なし

腹部：平坦、軟圧痛なし、腸雑音正常

下肢：浮腫なし

入院時検査（図1参照）

治療経過

#COVID19(中等症Ⅰ)

入院時の酸素飽和度93～95%で推移し、中等症Ⅰと診断した。発熱あり、炎症反応上昇も認め、75歳以上で基礎疾患あり、重症化リスクは高いと判断した。発症から5日以内で、経口摂取も可能な状態であったため、モルヌピラビル1600mg/dayで5日間治療を行った。治療により経時的に酸素化は改善、炎症反応も改善を認めた。経過中大きなトラブルもなく経過し、発症11日目に隔離解除とし、自宅退院とした。

症例②（86歳女性）

【主訴】

食思不振

【現病歴】

高血圧、狭心症、慢性腎臓病で当院通院中。X年△月22日にCOVID19陽性と診断され、自宅療養していた。△月27日朝までは食事摂取が出来ていたが、その後食思不振となり、昼食以降は食事摂取困難となった。同居の長男嫁が保健所に相談し、当院での治療を指示され救急要請し、当院へ搬送された。

【既往歴】

高血圧、狭心症、慢性腎臓病、脂質異常症

【生活歴】

飲酒：焼酎1.5合/日喫煙：なし

【アレルギー】

薬・食べもの：なし

【常用薬】

シルチアゼム200mg、メチルジゴキシン0.05mg

カンデサルタン4mg、エソメプラゾール20mg

入院時現症

【身体所見】

意識レベル：GCS E4V5M6

体温：37.7℃脈拍：70回/分血圧：150/100mmHg

呼吸数：18回/分SpO₂：95%(室内気)

胸部：心音整、心雑音聴取しない、呼吸音清、ラ音なし

腹部：平坦、軟圧痛なし、腸雑音正常

下肢：浮腫なし

入院時検査（図2参照）

治療経過

#COVID19(中等症Ⅰ)

#誤嚥性肺炎

発症後6日目に入院。入院時の胸部CTで、両側肺野にCOVID19に典型的な肺炎像を認めた。酸素化は室内気で95%と中等症Ⅰと診断し、5日間レムデシビルで治療を行った。誤嚥性肺炎を併発しており、CTRX2g/dayで治療を行った。当面の間食思不振は改善せず、点滴管理を行った。治療

